



## 新タイプ 防爆IP携帯電話開発

～一般携帯並みの軽量コンパクトボディ～

当社が2007年12月より販売している防爆無線LAN関連商品<sup>※1</sup>に、新たなラインナップが登場しました。

当社と株式会社宮木電機製作所（本社：京都府亀岡市、社長：河原耕嗣）は、従来に比べ重量1/3、通信距離5倍で、ハンズフリー通話が可能な防爆IP携帯電話（LANEX-TL10、以下TL10）を開発しました。

TL10の最大の特徴は、約130gの軽量コンパクトボディです。一般（非防爆）のIP携帯電話と比べても遜色ない軽さを実現しました。作業用手袋をしたままでも操作性を損なうことが無いよう、配置間隔を広くとった大きめの操作ボタンを採用しています。

他の特徴として、TL10は最高クラスの防爆構造<sup>※2</sup>となっており、アセトアルデヒドやジエチルエーテルなどの爆発性ガスを取扱う施設での使用基準をクリアしています。また、通話距離<sup>※3</sup>は飛躍的に向上し、オープンエリアで約500mを実現。これによりアクセスポイント（無線基地局）の設置台数を減らしコストダウンを図ることができます。

新たに追加された機能として、ハンズフリー通話機能<sup>※4</sup>、複数のIP携帯電話同士が同時に通話できる会議通話機能、IP携帯電話所持者が倒れた時に自動的に警報を発信する転倒警報機能を搭載しています。転倒警報機能は、IP携帯電話の位置を検知する位置検知システムと組み合わせることで、作業員の不測の事態への迅速な対応を可能にします。

現在、TL10は防爆認定申請中であり、2011年の秋には、工場やプラントなどで爆発性ガスを取り扱う様々な分野のお客様に対し、販売を開始してまいります。

※1：2007年12月 防爆型無線LANシステム（指向性アンテナLANEX-AP）発売

2009年7月 防爆IP携帯電話（LANEX-TL）および防爆無指向性アンテナ（LANEX-AP0200）発売

※2：本質安全防爆（Ex ib IIB T4）を採用し、第一類/二類危険場所での使用が可能。

発火温度135℃超の爆発性ガスに対応。

※3：防爆IP携帯電話通話時におけるアクセスポイントからの距離。

通話距離は、アクセスポイントが設置される環境により異なる。実際の適用にあたっては、現地での電波伝搬調査が必要。

※4：ハンズフリー通話には、別売の防爆イヤホンマイク（LANEX-HF10）が必要。  
防爆IP携帯電話～防爆イヤホンマイク間の通信は無線を適用。

以上

---

本件に関するお問い合わせは下記にお願いいたします。  
JFEエンジニアリング株式会社 総務部広報室